

## 『自己決定と支援』について考える

～重い障害をもつ人の自己決定に必要なものは～

- ◆日時：8月29日（日）13:00～17:00
- ◆会場：神奈川県社会福祉会館2階 第2研修室（60名利用可）
- ◆テーマ：『自己決定と支援』について考える～PART II  
 講演 「自己決定・自己選択と支援サービス～新制度への展望 II」  
 講師 光増昌久（松泉学院施設長 日本グループホーム学会副代表）  
 シンポジウム「自己決定に必要な支援とは II」  
 柴田洋弥（コーディネータ 日の出福祉園） 光増昌久（前掲）  
 大久保常明（社会福祉法人全日本手をつなぐ育成会常務理事）  
 田口道治（日本知的障害者福祉協会日中活動支援部会通所更生分科会副座長）
- ◆参加費：サポート研会員は無料 それ以外の方は1,000円（資料代など）

知的障害者は「自己決定そのものへの支援」を必要としています。これが自己決定のできる身体障害者との大きな違いです。現在政府の障がい者制度改革推進会議および総合福祉部会では、身体障害者団体から「自己決定」を前提とする「セルフマネジメント」が強調され、知的障害者に必要な支援サービスの議論も低調であるようにみえます。障害者自立支援法は「介護」概念で制度設計され、障害程度区分の認定も「介護時間数」が基本となっています。知的障害者に合わない身体障害中心の制度設計が、総合福祉法でも形を変えて繰り返される可能性があります。また民主党の「現行手帳を廃止して社会参加カードに統一する」という案も、知的障害者支援の特徴が無視される危険性を含んでいると言えます。

6月に行った公開セミナー、7月に開催した勉強会に引き続いてこの自己決定と支援の関係の第3回目の勉強会を行います。ぜひご参加ください。今回は光増昌久氏と田口道治氏を新たにお招きしました。

### 【プログラム】

- 13:00 受付
- 13:30 開会 趣旨説明 柴田洋弥
- 13:40 講演 光増昌久
- 14:50 シンポジウム  
柴田洋弥 光増昌久 大久保常明 田口道治
- 16:50 まとめ 赤塚光子（サポート研会長）
- 17:00 終了  
…懇親会？

〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡 4-2 神奈川県社会福祉会館内 TEL：045-311-1421



サポート研 勉強会に申し込みます（参加費は当日お支払いください。）  
 このままFAXして下さい。0467-54-5498（茅ヶ崎 入道雲 村尾宛て）

なおご不明の点などありましたらサポート研ホームページからメールにてご連絡ください。Support-ken@foresu

お名前	
所属（記入または○をつける）	第 _____ 研究会 あるいは 所属していない
連絡先	電話 _____ メール _____
ご意見欄（当日の質問とさせていただきます）	